



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2009年11月13日号 No.121

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

震災から5年の新潟県川口町を視察しました

「元気出せ 力合わせて復興だ」「大地震 地域のきずなに大きな自信」…震災からまなぶべきことは

11月4日午前10時、川口町役場に到着。まず目に飛び込んだのは、役場の入口に掲げられた「元気出せ 力合わせて復興だ」の横幕です（写真左下）。

町議会議長、共産党の佐藤議員、総務課長、議会事務局長らが対応していただき、総務課長から川口町の復興状況を聞きました。

「復旧」は完了したが、どうなれば「復興」かの判断は難しいとのこと。震災から人口も減り、高齢化率も29%になったそうです。また国や県からの支援策のうち、利子補給も固定資産税



木沢地区の棚田。すばらしくきれいな風景です。



の減免も期限となった今、これから被災者も大変になるようです。

一番の印象は、「きずな」が強い町だからこそ助け合って乗り切れたし、震災を機により強まっている。「地域に住む人の家族も体調も分かっているから、要援護名簿」は不要です」ときっぱり答える町の姿勢は、都市型震災に備える私たちにとって、大きな課題です。

その後、震源地、木沢地区の廃校した校舎を利用している「体験交流センター」、全壊家屋の多かった田麦山地区など見て回りました。



絆



区民の声、悩みを いったい誰が受け止めるのか？

「日本の『貧困率』が高まるなかで、区内でも一見すると豊かなようだが、実は大変な状況におかれている現実がある。…6日に開かれた「区議会と町会連合会の懇談会」である町会長さんの「訴え」です。

マンション居住者が圧倒的に増えるなかで、町会運営も大変と町会のご案内のチラシを配ったところ、住民から少くない相談が舞い込んでくるそうです。「ぜひこの現実を知っていただき、行政にもはたらかかけてほしい」との内容でした。これはそのまま、私たち共産党に言われたことだとも、感じました。



裏面掲載のウォーキング、お誘いあわせご参加ください

まんだち日記

3・4日 上記の新潟県川口町と湯之谷やまびこ荘を視察。

6日 午前、町会連合会での懇談会。防災が中心テーマでしたが、懇談は多岐にわたりました。「町会は任意団体なんだから警察や消防からの行事などの押し付けはいかがなものか」などの意見も飛び出しました。

7日 区立千駄木小学校の百周年記念式典に出席。子どもたちも同窓生も先生も地域の人もみんな学校が大好き！が伝わってきました。お楽しみのアトラクションは、ソーラン節と素晴らしい吹奏楽。みんな、いつまでもこの日を忘れないように。

